

# 新約聖書の中の祈り⑮

熊本聖書フォーラム

2021年1月10日

出典：MBS147 “Prayer in New Testament History” Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

## 「新約聖書の中の祈り」のアウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り（4の事例）
3. 使徒の働きにおける祈り（27の事例）
4. 書簡における祈り

本日は、使徒の働きにおける祈り（第24～27）

## 24番 別れの祈り

P.1～2

使20：36 こう言ってから、パウロは皆とともに、ひざまずいて祈った。

- ① 第2回宣教旅行、「アジアでみことばを語ることを禁じられた」が、帰路の途中でエペソに立ち寄り、「神のみこころなら、またあなたがたのところに戻る」
- ② 第3回宣教旅行 エペソへ、その結果「アジアに住む人々はみな、主のことばを聞いた」
- ③ 第3回宣教旅行→エルサレムへ

## 24番 別れの祈り

P.2

使20：36 こう言ってから、パウロは皆とともに、ひざまずいて祈った。

- ④ エルサレムへの途中、ミレトスで、エペソの教会の長老たちを呼び寄せた
- ⑤ 18～35節 パウロのメッセージ

## 24番 別れの祈り

P.2

使20：36 こう言ってから、パウロは皆とともに、ひざまずいて祈った。

祈りの特徴

- ① 姿勢：ひざまずいて
- ② グループでの祈り
- ③ 最後の別れ、信者たちを神にゆだねる祈り

## 25番 神の守りを願う祈り

P.2

使21：5～6 そして海岸でひざまずいて祈ってから、互いに別れを告げた。

経緯 使徒21：1～5 エルサレムへの旅

- ① ミレトス→コス→ロドス→パタラ
- ② パタラで船を乗り換える
- ③ ツロに入港
- ④ 積荷の荷下ろしのため、停泊7日間

## 25番 神の守りを願う祈り P.2～3

使21：5～6 そして海岸でひざまずいて祈ってから、互いに別れを告げた。

経緯 使徒21：1～5 エルサレムへの旅

- ④ ツロに滞在中、信者たちを探して、会うことができた。その信者たちは、パウロがエルサレムで受けるであろう苦しみを御霊に示された。彼らは、パウロにエルサレムに行かないように言った。
- ⑤ 出港の日に、信者たちが見送りに来た

## 25番 神の守りを願う祈り P.3

使21：5～6 そして海岸でひざまずいて祈ってから、互いに別れを告げた。

祈りの特徴

- ① グループでの祈り
- ② 姿勢：ひざまずいて
- ③ 場所：海岸
- ④ 内容：旅の安全、特にエルサレムで守られるようにパウロを神に捧げる献身の祈り、互いに別れを告げる祈り

## 26番 祈りと神の導き

P.3

使22：17 宮で祈っていたとき、私は夢心地になりました。

パウロの弁明 22：1～21

- ① パリサイ派のガマリエルの門下生
- ② 「この道」を迫害した
- ③ ダマスコ途上で、復活のイエスに出会い、目が見えなくなった
- ④ ユダヤ人アナニヤが来て、目が見えるようになった

## 26番 祈りと神の導き

P.3

使22：17 宮で祈っていたとき、私は夢心地になりました。

パウロの弁明 22：1～21

- ⑤ ダマスコから（3年後に）エルサレムに帰って  
宮で祈っていたとき  
夢心地になり、主イエスを見た  
主イエスから命令を受けた

## 26番 祈りと神の導き

P.4

使22：17 宮で祈っていたとき、私は夢心地になりました。

祈りの特徴

- ① 場所：エルサレムの神殿域
- ② 祈りの時：神殿域における「祈りの時間」
- ③ 祈りの内容：あらかじめ書かれた祈り

## 27番 癒しの祈り

P.4

使28：8 パウロはその人のところに行って、彼に手を置いて祈り、癒した。

「その人のところに**行って**」

病人が床についている部屋に**入って**

しかも、パウロが**一人で**

祈りは、基本的に一人になって祈るもの

## 【補足】 グループでの祈り P.4

- 祈り自体は、父なる神に向けて
- まわりの会衆に聴かせるための祈りではない
- グループが 一人の人のようになって 神に向かって祈る = 「**心を一つにして**」 (使徒4:24)

## 27番 癒しの祈り P.4

使28:8 パウロはその人のところに行って、彼に手を置いて祈り、癒した。

- 祈りの内容：特別な願い求め、マルタ島の長官ブリウスの父親が病気、その人の癒しを願った
- この祈りは、病人のために癒しを求める祈り

## 27番 癒しの祈り

P.4

使28：8 パウロはその人のところに行って、彼に手を置いて祈り、癒した。

- ① マルコ16：18「病人に手を置けば癒されます」→信じるすべての人々ができるのか？
- ② マルコ16：16「信じてバプテスマを受ける」→水の洗礼を受けることが救いの条件か？
- ③ 救いは、信者一人ひとり
- ④ しるしは、信者の集合体である教会に現れる

## 27の事例から 13のポイント P.5

- ① グループで祈るための会合をしていた
- ② もちろん、個人的に一人で祈ることも
- ③ 祈りの時間へも引き続き参加
- ④ 祈りの内容には、7つのタイプ
- ⑤ あらかじめ書かれた祈りではなく、即興的

27の事例から 13のポイント P.5

- ⑥ 祈りの先は、父なる神に
- ⑦ イエスの名によって祈った
- ⑧ 祈りに伴って、断食・賛美・手を置くこと
- ⑨ 姿勢は、立って・ひざまずいて
- ⑩ リーダーは、自分自身と信者たちのために特に祈るべき責任を負っていた

27の事例から 13のポイント P.5

- ⑪ 祈りの時間帯はさまざま
- ⑫ 未信者の祈り「救いのメッセージが自分たちにも、もたらされますように」は、神に届いた。
- ⑬ 祈りの場所は、さまざま。個人の家、屋上、神殿域、川岸、海岸

## 「使徒の働き」の時系列の表 P.6

- 紀元30年から62年頃までの記録
- パウロは、アンティオキアの教会から派遣されて3回にわたる宣教旅行
- 第3回目はアンティオキアに帰還することなく、エルサレムで収監され、カイサリア、さらにローマに移送された